

開設講習名	【選択】特別支援の教育学		講師	松田 信夫	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 7 月 22 日		時間数	6 時間	受講予定人数 100 人
受講者募集期間	平成 29 年 4 月 7 日～平成 29 年 4 月 15 日		履修認定時期	平成 29 年 8 月 10 日まで	
履修認定対象職種	教諭, 養護教諭, 栄養教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭, 養護教諭, 栄養教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
【到達目標】 1 特別支援教育を歴史的視野で理解し、領域・教科を合わせた指導の理念と具体を理解する。 2 学習意欲を喚起する指導について、実践事例とともに理解する。 3 学校教育終了後の進路の実情を知り、学校における指導の理念と具体を理解する。 4 発達障害児(LD、ADHD、高機能自閉等のある児童生徒)への指導について、実践事例とともに理解する。					
【講習の概要】 1 わが国の特別支援教育 特別支援教育に関する教育理念や指導法の歴史的経緯について、特に昭和20年代から発展した生活主義教育と生活単元学習等の関連性を中心に説明し、その指導の具体と課題について解説する。 (1)特別支援教育の歴史 ①江戸、明治、大正、昭和、平成 ②特殊教育から特別支援教育へ (2)領域・教科を合わせた指導 ①教科主義から生活主義へ ②生活単元学習等の指導 2 学習意欲を喚起する指導 内発的動機付けを大切にしつつ、児童生徒の学習意欲を喚起する指導について、国語科の実践事例をもとに解説する。 3 学校教育終了後の進路と指導 学校教育終了後の進路の実態(入所施設・通所施設・就労支援事業所・事業所等)と課題を解説する。また、学校教育終了後の生活実態を背景に、学校教育段階で求められる指導のあり方について解説する。 (1)働くことの意義 (2)諸研究からの知見を指導に生かす (3)家庭教育および学校教育で育てる必要のある力、その工夫 (4)事業所での取り組み 4 発達障害児(LD、ADHD、高機能自閉等のある児童生徒)への指導 (1)児童生徒の「未学習」「不足学習」に気づく (2)「適切な方法」を一つずつ、できるところから教えていく (3)幼児児童生徒の立場に立ってみる (4)教師同士の助言が力になる (5)学級づくり～まわりの子どもたちを育てる～ (6)保護者の心情に寄り添う					
【評価の方法・評価基準】 評価の方法：筆記試験 評価基準：合格；講義の内容の基礎的な部分を理解し、説明できる。 不合格；上記以外					
【テキスト・参考文献】 事前にテキスト(資料)を配布予定。					
【受講者への伝達事項】 特になし。					